



第 30 号 2024 年(令和 6) 9 月



横浜市立 東台小学校同窓会

横浜市立東台小学校同窓会

検索

会報

ホームページアドレス(URL) : <http://higashidai-alumni.kids.coocan.jp/>



全校児童による創立 130 周年記念人文字航空写真

写真提供 (株) フォトスタッフ
無断転載禁止

目次

挨拶 会長 2	130 周年記念縁日 4	会費納入者一覧 10
挨拶 校長 2	リヴィエールの会 6	会計報告決算と予算 11
挨拶 副校長 2	創立記念講話 7	お知らせ 12
ホームcomingデー . 3	活動実績と計画 8	
三ツ池花見会 4	クラス会・同期会だより . 9	

同窓会の主な活動報告

■ ホームカミングデー

東台小学校創立 130 周年、東台小学校同窓会創立 30 周年を記念して、第 2 回のホームカミングデーを 2024 年 6 月 8 日に開催しました。5 年前の第 1 回はうって変わって天候に恵まれ、100 名を超える方々の参加が得られました。準備は作年の 10 月から始めましたが、当初より東台小学校の 130 周年記念の一連の行事の中に組み入れていただき、かなりスムーズに準備が進みました。当日は保護者の授業参観日に指定されていて、土曜日ですが授業のある日になりました。そこで、授業に組み入れた中での児童との交流、給食の試食、そして学内ツアーと称して、学校の授業の雰囲気や、廊下からではありますが味わっていただくなどの企画が可能になりました。さらに、帆船日本丸を愛する男声合唱団が、そのメンバーに同窓生がいることから、ほぼボランティアで公演を引き受けてくれることになり、全体に花を添えることができました。今回の企画が、このように学校の今を体感していただくことが中心になっているためか、同窓生だけでなく、そのご家族も一緒に参加されている姿が散見されました。

校内の施設は昨今格段に充実していて、目を見張るものがあります。全員に配布されているタブレットなどを巧みに操る姿も垣間見られて隔世の感ですが、それでも、廊下などに張り出してある生徒たちの作品などを見ると、小学生らしさを感じられてホッとすところすです。

授業の一環として 3 年生全員との交流は、前もって生徒たちが質問を用意していて、それぞれ 1 対 1 で同窓生と対話しようという企画です。どうなることかと心配もしま



したが、始まってみれば同窓生の皆さんが本気になっ

て対話を楽しんでいるようでした。最後に皆で校歌を歌って終わりました。

現在の給食指導は、はなかなかルールが厳しく、参加者の皆さんには牛乳パックの解体などの作業も体



験してもらいました。今年 3 月卒後した生徒（中学生）も参加していたので、試食後の片づけの指導なども手伝ってもらいました。90 食分用意したのですが足りなくなっていました。

同窓生同士の懇親会は、初めに学校長の学校の説明があり、その後同世代同士でグループを作って歓談しました。御兄弟に久しぶりに対面するなどということもあり、和気あいあいと進みました。最後は男声合唱団の歌声と、中での同窓生のパフォーマンスに沸いて、お開きとなりました。



なお、参加者には石碑に関連して教材用に作成した「私たちの東台小学校の歩み」と、ホームカミングデー用に編纂した写真集「私たちの東台 130 年の歩み」を配布しました。今回も源関校長をはじめとする東台小学校の皆さんから全面的なご協力を頂きました。この場を借りまして心より御礼申し上げます。

(記 増子 寛)

○ ホームカミングデーに参加して

昭和 29 年卒 玉井 経理

ホームカミングデーは 2 回目だそうです。今回初めて参加しました。

卒業後に学校周辺を歩いたことはありますが、校内に入るのは70年ぶりです。いささかの緊張と感慨で足が震える思いがしました。受付の後、役員の方で校内見学会に参加しました。昔の面影は校庭を見渡した時の広さ観と校舎の位置関係の思いだけでした。続いて3年生児童との交流会があり、小学生時代の思い出、遊び、給食の様子などを聞かれ、説明すると目を丸くして、時代の違いに驚いていました。

給食試食会では、昔のことを思うと雲泥の差があり、美味しくいただきました。今の児童は恵まれていますね。



午後からの懇親会の後、「帆船日本丸を愛する男声合唱団」による9曲の演奏があり、中でも旧制三高寮歌の「琵琶湖周航の歌」では、参加者全員で合唱し、感慨に浸りました。また、団員の一人が同期生

で、「ウキスキー・ジョニー」と「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」は、彼のソロ・パフォーマンスがあり、大いに盛り上りました。

今回、我々の同期は10名が参加しましたが、同期生や他の多くの参加者の感想は、楽しく素晴らしかったとのことでした。これは、会長をはじめ役員の方々の、周到な準備と運営で大変なご苦勞をされた成果でしょう。深く感謝申し上げます。そして、これはぜひ同期生に知らせなければとの思いで、LINEで報告しました。多くの方が次回はぜひ参加したい、とのことでした。ただし、我々が生きていれば……です。(笑)

■ 五回目の三ッ池公園「お花見会」

2024(令和6)年3月27日(水)に第5回目となる「お花見会」が、例年と同じ三ッ池公園の花の広場で開催されました。2017(平成29)年に第1回目が開催されて以来、途中新型コロナ・オミクロン株の感染拡大を受けて3年間中断はされましたが、昨年再開され、今年も引き続き第5回目を開催することができました。

今年の桜は3月中旬に開花、3月下旬には満開と

の予報でしたので、3月26日に開催することを決め準備しておりましたが、あいにく26日は朝から雨で一日降り続くとの天気予報でしたので、一日延期して3月27日に開催することとなりました。27日は幸い前日の雨も上がり、薄日がさす「お花見」には適した日和となりましたが、3月に入ってから寒い日が続いた為か、満開のはずの桜はいまだ開花すらしておらず、まったく主役のない「お花見会」となっていました。

開催日が変更になってしまったことと、肝心の桜が咲いていないこともあってか、今までの5回の「お花見会」の中で参加人数の一番少ない18名でした。それでも、懐かしい仲間が集まれば自然と話の花は満開となり、いつもお世話になる相模屋さんからお借りしたビール箱を椅子代わりにして、差し入れの手料理、崎陽軒のシュウマイをつまみに、お酒で喉を潤して参加者一同楽しいひと時を過ごしました。時間はあっという間に過ぎて、桜のないお花見会も終了の時間となってしまいました。



来年こそは、青天のお花見日和で満開の桜の下での「お花見会」で一同再会することを願って散会となりました。(記 渡邊榮一 昭和34年卒)

■ 東台小学校130周年記念「縁日」に出店

2024(令和6)年7月20日(土)に東台小学校にて開催された創立130周年記念「縁日」に、同窓会も「輪投げ」と「科学教室一光の不思議」を出店致しました。

○ 輪投げ

「輪投げ」はコロナ禍で2019(令和元)年を最後に中